

No.129
北本市

議会だより

令和6年(2024年)8月1日発行

編集/議会広報広聴委員会

発行/北本市議会(北本市本町1-111)

Tel 048-591-1111 Fax 048-591-6335

URL <https://www.city.kitamoto.lg.jp/shigikai/index.html>



Contents

- 2 6月定例会・委員会の動き
- 5 提出案件の結果・議会用語
- 6 一般質問
- 15 人事案件・請願等
- 16 傍聴について

令和6年第3回
北本市議会定例会は、
8月27日(火) 開会の
予定です。

／ 委員会で審査しました ／

※先頭の数字は議案番号

予算決算常任委員会

- ③⑨令和6年度北本市一般会計
補正予算（第2号）
④⑩令和6年度北本市介護保険
特別会計補正予算（第1号）

健康福祉常任委員会

- ③④北本市学童保育室設置及び管理
条例の一部改正について

総務文教常任委員会

- ③⑥北本市公民館設置及び管理条例
等の一部改正について

建設経済常任委員会

- ③⑤北本市手数料条例の一部改正
について

6月定例会

令和6年度

北本市一般会計予算総額に

8億9446万7千円を追加

6月5日から6月27日まで23日間の会期で開かれた
定例会では、市長提出議案9件、請願1件を慎重に審
議しました。

予算決算常任委員会

「議案第39号」

令和6年度北本市一般会計補
正予算（第2号）

総務文教分科会

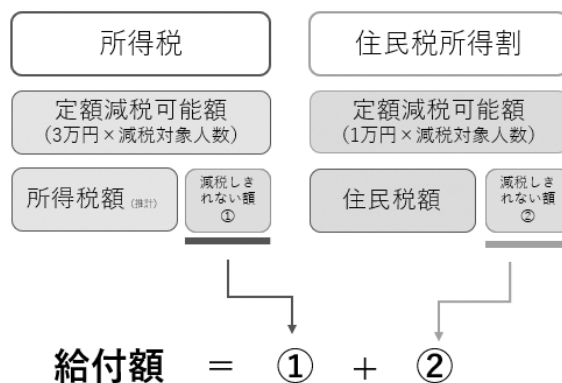
Q1 市税のうち個人市民税に関し
て、定額減税の対象人数及び満額を
減税できない人数について

A1 定額減税の対象者数は、おお
よそ3万2400人と見込んでいま
す。また、減税しきれない人につい
ては、調整給付金という形で給付さ
れることとなりますが、住民税と所
得税を合わせて1万2500人と見
込んでいます。

Q2 市民への周知はどのようにさ
れているのか

A2 定額減税の周知方法について
は、既に市のホームページに対象者
や減税額、実施方法等の概要を掲載
しています。また、広報きたもと6
月号に、ホームページと同様に制度
の概要について掲載しています。

は、既に市のホームページに対象者
や減税額、実施方法等の概要を掲載
しています。また、広報きたもと6
月号に、ホームページと同様に制度
の概要について掲載しています。



Q3 債務負担行為補正に関して、
郷土資料室土地借上業務2880万
円の積算根拠について

A3 月額12万円掛ける12か月の
20年間となります。12万円の内訳に
ついては、固定資産税及び都市計画
税相当額、それらの課税標準額に
0・5%を乗じた事務費を加えた金
額が積算の根拠となっています。

Q4 教育費のうち学校教育費に関
して、心の健康相談アプリの概要及

び導入する目的について

A4 児童生徒が使用しているタ
ブレット端末上で、自分の心の状態
を教員に知らせるためのアプリで
す。晴れマーク、曇りマーク、雨
マーク、雷マークの4種類のどこに
一番近いかを選択することで、教員
に今の自分の心の状態を知らせるこ
とができます。アプリの導入によ
り、教員が子どもたちの心や体調の
変化を早期に発見するとともに、子
どもたちから出されるSOSにいち
早く気づき、対応していくことが目
的です。

Q5 教育費のうち文化財保護費に
関して、郷土資料室の移転に伴う整
備改修工事において消防設備が必要
となり、619万5000円を増額
補正することだが、どのような
スケジュールで行われるのか

A5 当初予定していた改修工事
と合わせて、消防設備の追加工事を
行います。スケジュールとしては、
当初予定していた改修工事と同様で
あり、現時点では、令和6年8月に
入札の事務手続に入り、令和7年3
月上旬には工事が完了する予定で
す。

健康福祉分科会

Q1 民生費のうち社会福祉総務費
に関して、定額減税補足給付金の対

象人数の見込み、工事請負費の具体的な内容及び給付のスケジュールについて

A1 定額減税可能額が減税前の税額を上回る人が対象となり、想定している人数は1万2500人です。通信設備整備工事費については、7月より専用の電話回線を1回線増設するための経費となります。

給付までのスケジュールについては、現在、給付対象者を抽出して公金受取口座とひもづける作業を行っています。周知は市ホームページと広報きたもと7月号にて行い、対象者には給付決定通知書または確認書を7月中旬に発送します。公金受取口座を設定している人には8月7日に、確認書の対象となる人には8月8日に1回目の振込を予定しています。なお、所得税については見込み額に基づく給付のため、給付が不足する場合は追加給付をしますが、給付が超過する場合は返還を求めないことになっています。

Q2 民生費のうち児童福祉総務費に関して、学童保育室送迎支援事業補助金の内容について

A2 南学童保育室在籍者のうち石戸第二学童保育室の利用となる児童を、南小学校から石戸第二学童保育室まで送迎する取組への補助金です。児童の終業時間に合わせてマイ

クロバスで1日2回送迎する予定で、送迎時のガソリン代と人件費が補助の対象となります。年間の補助上限額は52万1000円ですが、7月からが補助対象となりますので、補助額は9か月分の39万750円です。国・県・市で3分の1ずつ負担し、不足分は事業者の負担となります。

Q3 衛生費のうち予防費に関して、新型コロナウイルスワクチン接種業務の内容及び周知方法について

A3 接種の時期については令和6年10月以降とし、回数は1回、1人当たり接種費用は1万1875円となります。積算については、国から示されているワクチン代1万1600円に初診料、注射料、手数料を含めた手技料3575円をプラスし、自己負担額3300円をマイナスした額となります。なお、令和6年度に限り、激変緩和措置のため接種補助として基金管理団体からの助成金が交付されます。接種想定人数については、高齢者インフルエンザ予防接種と同数の1万2000人分を計上しています。周知方法については、予防接種法の改正に伴い定期接種のB類に位置付けられ、接種の努力義務がなくなることから、接種勧奨や個別通知は行いません。高齢者インフルエンザ予防接種と同様に広報紙等による周

知を予定しています。また、新型コロナウイルスに限らずワクチン全般の健康被害が生じた際の救済制度の情報について、周知方法を検討していきたいと考えています。



「議案第40号」 令和6年度北本市介護保険特別会計補正予算(第1号)

Q 総務費のうち介護認定費に関して、介護報酬改定内容及びスケジュールについて

A 令和6年6月1日から施行されている、介護報酬改定に伴うシステム改修委託料を計上しています。改定の内容としては、介護職員処遇改善加算や訪問看護など主に医療系の基本報酬の単価改定などがあり、6月実績分の請求より対象となります。スケジュールについては、サービス提供事業者からの6月実績分請求内容は国民健康保険団体連合会で審査され、市に請求書が届きサービス提供事業者へ支払いを行うのは8月下旬以降になります。よって、本定例会での議決後にシステム改修に取り組んでも間に合う予定となっています。

総務文教常任委員会

「議案第36号」 北本市公民館設置及び管理条例等の一部改正について

Q1 なぜ今このタイミングで利用料金の改定を行うのか

A1 北本市使用料・手数料の適正化に関する基本方針を定めた中に、新たな指定管理期間が始まる時期とあるため、令和7年度から新たな指定管理者となるこのタイミングで、料金を見直すこととしました。

今回の利用料金の改定によって、公民館全体の利用料金のバランスを取り、利用する全ての人にとって公平・公正な料金体系にすることが大きな目的となっています。

Q2 北本市においては将来的に公共施設床面積を50%削減していくという計画があるが、今後の公共施設マネジメントを見据えた上での料金改定なのか

A2 北本市公共施設等総合管理計画では、今後、小・中学校が廃校になった際には、公民館を集約していくという位置付けになっています。今回の利用料金の改定については、今後5年間、次の指定管理者が管理運営を行う期間の利用料金ということで設定しています。

Q3 利用者にとっては公平性が確保できると思うが、受益者負担50%で利用しない市民にとって公平と言えるのか

A3 利用料金の算定に当たり、性質別負担割合を設定しています。施設の性質別の分類については4つに分類されており、公民館は第3分類として、日常生活を快適にするもので、個人によって必要性は異なるが、民間にあまりないサービスと位置付けられた施設となっています。

第3分類は受益者負担50%、公費負担50%となっているため、この負担割合に基づき算定しています。

健康福祉常任委員会

「議案第34号」

北本市学童保育室設置及び管理条例の一部改正について

Q1 中丸第二学童保育室の整備について、当初の計画からどのような変更があるのか

A1 当初の計画は2階建てでしたが、バリアフリー法に対応するためにエレベーターを設置しなければならず、多額の費用がかかることから1階建てに変更しました。また、利用者40人の支援単位が2つのため2部屋を設ける予定でしたが、2部屋に分けるとそれぞれにキッチン、

トイレ等を設ける必要があることから、指定管理者と協議した上で、専用区画の確保を優先し1部屋とすることになりました。建物全体の面積や、80人分の利用については変更はありません。開所の時期についても、当初の計画どおり令和7年4月1日の予定です。

Q2 中丸第二学童保育室の駐車場は、動線も含めて十分なスペースを確保しているのか

A2 駐車場については、中丸第二学童保育室の建築前は、商工会用11台と中丸学童保育室用5台の合計16台ありましたが、建築後には全体で9台分となり、配分についてはこれから協議します。車の動線等は十分に確保していますが、送迎時の混雑などでトラブルが起らないよう、中丸小学校の駐車場も活用しながら、指定管理者とともに利用者にと丁寧の説明し、運用していきたいと考えています。

建設経済常任委員会

「議案第35号」

北本市手数料条例の一部改正について

Q1 改正条文中の既存建築物の大規模修繕等にはどのようなものが含まれるのか、具体的な内容について

A1 大規模修繕等の中には含まれるものは、建築基準法上の建築等を行う場合の申請における、大規模な修繕または大規模な模様替えのことです。大規模な修繕や大規模な模様替えとは、主要構造部の一種以上について過半以上の修繕又は模様替えを行うものであり、主要構造部とは、壁、柱、床、梁、屋根、階段などの構造上重要な部分を指します。

Q2 今回追加された建築副主事とはどのような資格を有するのか、また条例に追加することとした理由について

A2 建築基準法の改正により建築副主事という制度が追加されました。背景としては昨今の技術者及び審査員の不足があり、2級建築士の資格を持つ者が、2級建築士が設計できる建築物の大きさまでの適合判定を行えるという資格者制度が創設されたものです。2級建築基準適合判定資格者試験に合格し登録した者を建築副主事として任命し、配置することができま。本市では現在6人の適合判定資格者がいますが、将来、北本市でも建築副主事を置く可能性が考えられることから、法改正にあわせて建築副主事の規定を追加しました。

Pick up!

6月定例会の会期中に、市長提出議案2件が追加で提出されました
議案第42号は最終日に提出されたため、会期を1日延長して慎重に審議を行いました。

「議案第41号」工事請負契約の締結について (体育センター特定天井等改修工事)

この議案は、北本市体育センター特定天井等改修工事について、一般競争入札により参加者を募り、4者の参加のもと、5月29日に入札を執行した結果、落札者が決定したため、契約を締結するものです。

「議案第42号」令和6年度北本市一般会計補正予算(第3号) (小・中学校体育館空調設備設置事業)

この議案は、小・中学校体育館空調設備設置事業の実施方法を見直し、基本設計及び実施設計に要する経費を皆減して新たに業務支援に要する経費を計上するとともに、財源調整として財政調整基金の増額及び地方債の減額・起債限度額の変更を行うものです。

提出案件の結果一覧（4月臨時会）

議 案 名		議決結果	彩桜きたもと						緑風会				公明党		日本共産党		みらい		市民の力		北本市議会 （本部）	
			永井司	青野康子	高橋誠	諏訪幸男	岡村有正	現王國孝昭	滝瀬光一	小久保博雅	村田裕子	桜井卓	今関公美	齊藤章	保角美代	島野和夫	湯沢美恵	中村洋子	金森すみ子	大嶋達巳		工藤日出夫
市長提出議案	「議案第29号」専決処分の承認を求めることについて（北本市税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第30号」専決処分の承認を求めることについて（北本市都市計画税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第31号」専決処分の承認を求めることについて（北本市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第32号」固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第33号」工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

提出案件の結果一覧（6月定例会）

議 案 名		議決結果	彩桜きたもと						緑風会				公明党		日本共産党		みらい		市民の力	北本市議会	
			永井司	青野康子	高橋誠	諏訪幸男	岡村有正	現王國孝昭	滝瀬光一	小久保博雅	村田裕子	桜井卓	今関公美	齊藤章	保角美代	島野和夫	湯沢美恵	中村洋子	金森すみ子	大嶋達巳	工藤日出夫
市長提出議案	「議案第34号」北本市学童保育室設置及び管理条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第35号」北本市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第36号」北本市公民館設置及び管理条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○		×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	「議案第37号」固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第38号」人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第39号」令和6年度北本市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○
	「議案第40号」令和6年度北本市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議案第41号」工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	「議案第42号」令和6年度北本市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「議請第3号」広報きたもと等の音声データ化の充実に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄になっています。※表の見方 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

除斥・退席について

除斥 … 議会において、議員は直接の利害関係にある議事には参加できないとする制度のこと。関係事案の審議に際しては退場しなければならない。

退席 … 議員個人の判断で、採決前に議場の外へ出ること。

コラム 「可決」、「同意」、「承認」、「採択」… どんな違いがあるの？

議案などに対し議会の意思（可否）を決定することを「議決」といい、次のような種類があります。

- ・可決（否決）：『予算、条例、契約、意見書、決議、その他』に関する議案
- ・認定（不認定）：『決算』に関する議案
- ・承認（不承認）：『専決処分』*1に関する議案
- ・同意（不同意）：『人事案件』に関する議案
- ・採択（不採択）：『請願』に関する議案

※1 緊急の場合など、議会に代わり市長が意思決定をすること。

その他の議会用語については市議会のホームページで公開しています。



一般質問

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



さくらい すぐる
桜井 卓
(緑風会)



録画配信

学童保育室の入室基準の見直しについて

Q 入室基準が改正されたが、働き方が多様になっている中、簡易な基準で保育が必要かどうかを判断できるとは思えない。基準を満たさなければ申請すらできない。基準は目安として、利用希望があれば申請を受け、審査すべきではないか

A 一定の入室対象基準を設けることは必要と考えますが、一律に保育の必要性を判断することのできない様々な働き方や家庭の事情がある方に対し、事前相談ができる旨の案内が不十分でした。基準に該当するかどうか判断に迷われる際は、子育て支援課または申請窓口である学童保育室指定管理者に相談するよう、入室案内及び市ホームページ等で広く周知します。

個人情報保護と守秘義務の解除について

Q1 裁判所からの文書送付嘱託に基づき、裁判の当事者でない方の個人情報を含む一覧表を提出したことは、個人情報保護法や地方公務員法違反になるのではないかと

A1 個人情報保護法では法令に基づく場合には非公開条項には該当せず、守秘義務違反には当たりません。

Q2 官公署は嘱託に応じる義務はあるが、守秘義務を負う場合には守秘義務が優先する。文書送付によって実現される利益と損なわれる利益とを比較衡量して送付するか否かを決めなければならぬというのが通説。法令に基づくから提供できるとして漫然と提供したものであって、公権力の違法な行使に当たっているのではないかと。総務部長として調査すべきではないか。

A2 担当課で関係法令の確認や顧問弁護士への相談を行い、十分に検討を行った上で、市として意思決定を行ったものです。



ほずみ みよ
保角美代
(公明党)



録画配信

里親制度について

Q 里親制度はまだ認知度が低い。今後社会的養育にはなくてはならない社会資源なので増やすための周知啓発をすべきと考えるが

A 庁舎ホールでの里親活動パネル展示会、広報での特集記事の掲載や福祉まつりなど市のイベントでの展示ブースの出版については、有効な手段だと考えますので関係機関と連携・協力し可能なものから早期に実施したいと思います。

小・中学校のWISC(ウイスク)検査について

Q 検査用のキットも1台しかなく、検査の希望者も増えていて待ち時間が非常に長いと聞いているが改善できないか

A WISC検査キットについては最新版の検査キットの購入を検討しています。検査実施者は、スクールカウンセラー人

北本駅東口駅前ロータリーの駐車場の状況について

Q 市民から一般車両の駐車増やすために窓口に提案をしたと伺った。一般車両の駐車増やせないのか

A (市長) 鴻巣警察署と協議をしましたが、その時点では協議は整いませんでしたので、今後あらためて協議していきたいと考えています。



その他の質問

- 小学校の登校時間について
- 受動喫煙防止について
- 市内公共バスの充実に向けて
- 深井地域の雨水対策について

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



いませきまみ
今関公美
(緑風会)



録画配信

特別支援教育を充実させるための取組について

Q1 特別支援教育支援員は全員一律に同じ勤務時間だが、一律である理由を伺う

A1 勤務時間が一律でなければならぬ規定はありません。児童生徒が活動している中で一人ひとりへ隙間なく充実した支援を行うため、一律の勤務時間を設定しています。

Q2 支援員のニーズに合った働き方は可能か

A2 支援員個人のニーズと学校のニーズに合った勤務が可能となるよう意見を聞き取りながら運用していきます。

Q3 勤務時間が長く働ける支援員には働ける様に、また支援員を増員する事について伺う

A3 支援員のいない時間帯が生じないよう支援員の早番・遅番を調整し、児童生徒の支援時間を確保していきます。

歩道の整備について

Q1 石戸下踏切から東西の歩道整備のその後進捗状況について

A1 令和6・7年度に鉄道事業者が踏切本体部分の拡幅工事を予定し、今年度は拡幅工事に向けた周辺設備の改修を予定しています。また南団地北側にある遊水池前の歩道との連続性確保のため、遊水池から踏切方向に約100メートルの区間で幅員2メートルの歩道整備を計画し、沿線地権者の協力をいただいた後、測量に着手したいと考えています。

Q2 歩道整備の完了時期について伺う

A2 南団地北側遊水池から山道までの区間は用地取得等に時間を要することが想定されるため、現状では令和10年度の完成を目標に事業を進めています。

その他の質問

○障がい者施設等利用者の働く場所の確保の取組について
○害虫駆除に必要な防護服の貸出について 他



もろかずお
毛呂一夫
(れいわ新選組北本)



録画配信

市民が便利に移動できるまちについて

Q1 車椅子使用者が独力で乗車できるデマンドバスについて

A1 令和6年4月より介助者同乗のもと、乗車できるよう普通車両1台で運用開始したばかりです。デマンドバス事業者と令和9年度まで契約期間があり、電動リフト装備車両導入費用の問題もありますので、車椅子利用者の需要を把握し、必要性について検討していきます。

Q2 北本駅西口駅前広場の明るさ改善について

A2 北本駅西口駅前広場の整備から10年が経過し、更新時期を迎える照明器具の配置変更・照度の高いランプへの変更を考えています。バス停の時刻表部分の照明設備は、電気設備事業者・バス事業者と調整し、対応の可否を含めて検討します。

人口の社会増を推進する取組について

Q1 生活保護申請状況・受給状況について

A1 令和5年度末の生活保護率は1・05%で、近隣市と比べ低くありません。また、令和4年度に福祉総合相談窓口を開設し、生活に困窮する人のうち保護が必要な人へスムーズな支援ができるよう努めています。

Q2 きたもと朝市の出店者への対応について

A2 シティプロモーション事業の一環でもあるので、強風時などにおける庁舎ホールの緊急避難的な利用については、出店者の会と協議の上、関係部署と調整します。

市民の声がもっと市政に反映させられるまちについて

Q 地域コミュニティ8圏域の今後の在り方について

A コミュニティ協議会・地域コミュニティ委員会での将来の方向性を整理していただき、その方向性に寄り添いながら支援していきます。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



なかむらようこ
中村洋子
(日本共産党)



録画配信

福祉の充実を求めて

Q1 視覚障がい者への支援について

A1 視覚障がい者の外出を支援するためのサービスとしては、障害者総合支援法に基づく居宅介護、同行援護のサービスがあります。居宅介護における移動に関する支援では、通院等の外出の支援を行います。同行援護は、視覚障害により、著しい困難を有する人が外出するときに必要な情報提供や介護を行います。そのほか視覚障がい者の社会生活上、必要な外出をする際の視覚障害者ガイドヘルパーの派遣や障害児（者）生活サポート事業等を実施しています。助成・割引制度としてはJR、バス、デマンドバス、タクシーの運賃等の割引制度や、障がいのある方に利用券を交付してタクシーの初乗り運賃を補助する福祉タクシー事業、自動車燃料費

の一部を助成する自動車燃料費助成事業などがあります。

援について

Q2 難聴者等への支

A2 本市では、専門医と難聴

に関しての具体的な啓発内容や方法について協議を行ったところです。今年度は専門医の意見を参考にリーフレットを選定・配布し、難聴についての正しい情報の提供と周知啓発活動に取り組んでいます。

Q3 視覚障がい者に対する支援のエスコートゾーンについて

A3 エスコートゾーンは、横断歩道上に設置される突起体の列、横断歩道上の点字ブロックとして認識されているものです。令和5年8月に視覚障害者協会の皆様とエスコートゾーンについて現場を確認して調査を行い、令和6年10月までに工事を発注し、令和7年2月頃には完成させる予定で進めています。

Q4 音響信号機増設について

A4 要望があった場合には、鴻巣警察署に要望として伝えます。



ゆざわ みえ
湯沢美恵
(日本共産党)



録画配信

保険証等について

Q1 政府は12月2日から紙の保険証を廃止し、マイナ保険証に切替える方針だが、様々な問題があることから全国的に利用率は低い。本市のマイナ保険証の保有率と利用率を伺う

A1 令和6年3月時点のマイナ保険証の保有率は58・52%で、利用率は7・94%です。

Q2 マイナ保険証を持っていない人は資格確認証が必要となる。どの様なものなのか、また交付スケジュールについて伺う

A2 市町村国民健康保険における資格確認証の必須記載事項は、被保険者氏名、住所、性別、生年月日、保険適用開始年月日、世帯主名、保険者番号及び交付者名などで、資格確認証というタイトルは変わるものの、記載内容、様式、材質はこれまでの保険証とほぼ同じ内容で、令和7年7月にマイナ保険証を有し

ていない方に、有効期限をこれまでと同様の1年間とする資格確認証を本人の申請によら

気候危機対策について

Q 改正気候変動適応法において、熱中症特別警戒アラートが発表された際、暑さをしのげる場所として冷房設備を有する等の施設指定暑熱避難施設（フリーングシェルター）の設置が義務づけられたが、本市の取組について伺う

A 6月1日から庁舎、各公民館、学習センター、野外活動センター、総合福祉センター、北本総合公園管理棟の11か所をクーリングシェルターとして指定しました。さらに、民間施設と協定を締結し、ウエルシア中丸店のウエルカフェと調剤薬局待合室、プラザ北本店の調剤薬局待合室の3か所を指定し、10月第4水曜日までの間、熱中症特別警戒アラートが発表されたときに開放し、避難する人が適切に休憩できるよう管理します。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



あおの やすこ
青野 康子
(彩桜きたもと)



録画配信

小・中学校の教育環境について
Q1 不登校について、増加の要因と支援策は

A1 社会の急激な変化、それに伴う不登校の背景となる要因の複雑化・深刻化があります。教室復帰に向けて学級担任や教科担当教員による個別の学習支援や相談員等を配置し、心理面・学習面共に安心して学校生活を送れるよう支援しています。

Q2 朝日を浴びて身体活動をする事が不登校対策に有効な取り組みであると考えるが

A2 始業前の外遊びやマラソン等を、児童の主體的な活動として主に小学校で取り入れており、児童生徒の健やかな体と心の育成に努めています。

Q3 教科書採択について

A3 教科書採択の権限は市教育委員会にあり研究を行います。北本市は第七採択地区に属し、4市町で構成する協議会で協議

します。教員と保護者からなる調査委員の報告を基に採択案が示され、各教育委員会で追

認し正式決定します。採択結果は8月末までに採択理由と共にホームページで公表します。

ワクチンについて

Q1 予防接種健康被害救済制度について、過去に申請された内容と件数は

A1 1件は肺炎球菌ワクチンで通常起こりうる副反応として否認。2件は新型コロナウイルスワクチンで認定されました。

Q2 予防接種台帳の記録の保管期限は

A2 法律上、接種から5年間保存とされています。5年保存では接種履歴は分からなくなる、医学的に考えても長期間予防接種記録を保管するメリットは重要であるとの意見があり、具体的な期間の延長が国から示されると考えられます。動向を注視し適切に対応していきます。

その他質問

○マイナンバーについて



かなもり
金森 すみ子
(みらい)



録画配信

子どもの健康づくりへの取組について（公立保育所）

Q 本市の18歳以下の医療費は、今年度予算で3億円を超え、ふるさと応援基金を充当し対処している。無償化で医療にかかりやすいことは、早期治療につながり良いことだ。しかし、幼

少期からの身体づくりへ着目することも大切で、将来の夢を叶えるための土台となる。取組は

A 内科等の健診実施と共に、裸足保育、リズム遊び、年長児の雑巾がけなどで、バランス感覚、脳の働きや運動能力等を養う取組をしています。食育では、食べる喜びや楽しさを知り、様々な食べ物への興味や関心等を持つことを目的に、畑で野菜を作り、収穫した野菜を使ったクッキング保育を行っています。保育所は、子どもの生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期にその生活時間の大半を過ごす場となるため、健やかな育ちの実現につながるよう取り組んでいきます。また、

保育に関連した様々な機会を利用して、子どもの様子の伝達や保育所での取組の意図の説明等を通じ、保護者との相互理解に努めています。

不登校児童生徒の健診について

Q 学校での健診をなかなか受けることができず、健康リスクが大きいとの指摘がある。吹田市では、健診は学校生活だけでなく将来の生活のためにも必要であるとの考えで、学校外での健診費用を補助しているが、見解は

A 学校外で健診を受診した場合の費用補助は現在無く、できる限り学校で受診するよう働きかけています。早めに健診日伝え心の準備期間を設けたり、周りの目が気にならないよう受診時間を調整するなど、家庭と連携を図り、不登校児童生徒に寄り添いながら、受診しやすい環境づくりに努めます。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



たかはし まこと
高橋 誠
(彩桜きたもと)



録画配信

総合福祉センターのトイレについて

望が出ているとの報告を受けています。また、カーテンによる仕切りから扉への変更についても要望があるとの報告を受けています。

Q1 現状について

A1 多目的トイレを含め、1階は11か所中3か所が和式、8か所が洋式、2階は4か所全てが洋式となっています。また、1階西側のトイレ以外は車椅子利用者や、その介助者が利用しやすいよう出入口及び個室に扉はなくカーテンで仕切られています。鍵がついておらず施錠ができない状態です。

また、福祉避難所に指定されていますので、その点からも洋式トイレへの改修を含め、全ての人が安心・安全に利用できるトイレの整備について検討する必要があります。

Q2 利用者、勤務者からの要望について

A2 指定管理者からは、洋式トイレへの改修に加え、暖房便座への交換に関し利用者から要

Q3 公共施設マネジメント計画では移転の方向性も示されているが、具体的な時期は未定と伺っている。今後の方向性について

A3 令和2年3月策定の北本市公共施設適正配置計画において、廃校する学校への機能移転を検討するという方向性が示され、これを受け令和4年3月策定の北本市公共施設個別設計計画では、直近5年以内に大規模改修は行わず事後保全にて対応との考え方が示されました。しかし、移転の時期が未確定であることから、センターの設置目的及び高齢者や障がいのある方の利用割合が高い状況、そして、福祉避難所に指定されていることに鑑み、誰もが安心・安全に利用できるトイレへの改修について協議していきます。



こくぼ ひろまさ
小久保博雅
(緑風会)



録画配信

マンションに対する取組について

よう、他市等の事例を参考に調査研究を進めます。

Q 令和6年3月に北本市マンション適正化推進計画が策定されたが、認定制度、指導、助言、勧告の体制はどのような状況か

A 公益財団法人マンション管理センターの事前確認の手続を受けた後に認定申請を行うものとなり、助言、指導、勧告の体制としては担当職員が行います。今後は、専門知識やノウハウを持つ埼玉県や専門家団体、NPO法人等と連携を深めていくことが重要と考えています。

市内公園の現状及び整備について

Q1 住民の年齢構成の変化、ニーズの多様性等から周辺住民のニーズに合った公園にリニューアルしていくプランはあるか

A1 今後、公園整備やリニューアルに当たっては一層地域の声を反映した公園づくりができる

A2 安全面と公園を利用して人々の理解が必要であり、現時点では設置については白紙の状態です。しかし、要望の声も多くいただいていますので、設置の有無について様々な角度から検討していきます。

Q3 北本市では公園が緊急避難場所として指定されていないが、多くの近隣市町では指定されている。ある程度の規模の公園を緊急避難場所として指定し活用していくべきではないか

A3 公園を緊急避難場所として指定することは、切迫した災害の危険から逃れるためのスペース、地域住民の一時的な集合待機場所として大変有用と考えますが、指定については関係部署とも調整し、先進地の事例等を調査研究していきます。

Q2 バスケットゴールの設置が望まれているが、今後、公園に設置する予定は

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。

頻発化する窃盗事件について



ながい つかさ
永井 司
(彩桜きたもと)



録画配信

Q1 市内の刑法犯認知件数や、グレーチングやアルミ門扉の窃盗被害の状況は

A1 令和6年1月から4月末までの市内の刑法犯認知件数は92件で、前年の同期間と比べて7件の減少となっています。罪種別では、自転車盗が11件で、前年の同期間と比べて15件の減、自動車盗が2件で、前年比2件の増、車上狙いが9件で、前年比8件の増、部品狙い、自販機狙いが2件で、前年比1件の減、住宅敷地内の侵入窃盗が3件で、前年比4件の減少です。なお、鴻巣警察署によると、暫定値ですが、令和6年1月から5月末までの間で、市内においてはグレーチングの盗難はないものの、アルミ門扉の盗難が3件発生しているということです。

Q2 市中への防犯カメラ設置の検討状況は

A2 防犯カメラの設置については、地域に

おける犯罪抑止につながる有効な手段ではありますが、一方で、不特定多数の人が往来する公共空間に設置することは、プライバシーの保護や個人情報保護の適切な取扱いに十分配慮する必要がありますと考えています。また、市内全域を網羅した防犯カメラを設置することは、維持管理の面や費用面等の課題もあり困難と考えています。今後については、市内における犯罪の発生状況や他市の先行事例等を注視し、防犯カメラの設置の必要性について判断していきます。

その他の質問

- ・投票環境の整備について
- ・主権者教育について
- ・待機児童問題について
- ・北本市子育て応援事業について
- ・地域公共交通について
- ・都市計画について

自治会について



むらた ひろこ
村田裕子
(緑風会)



録画配信

Q1 イベントお助けバンク導入の考えは

A1 自治会活動に携わりたい人と自治会をマッチングする事業で、会員減少による行事実施の際の人手不足解消に繋がるため、調査研究していきます。

Q2 北本高校との連携について

A2 自治会がどのようなイベントや事業に対して人材を望んでいるのか、北本高校ではどのような事業に対して生徒の協力がいただけるのかなど、連携の可能性を探っていきます。

みどりの食料システム戦略について

Q みどりの食料システム戦略推進交付金事業への取組は

A 有機農業産地づくりと、有機農業への転換推進を図ることを目的としたこの交付金の活用に向け、有機農業に取り組む新

景観について

Q 景観計画策定の考えは

A (市長) 将来にわたり本市の特徴となる景観を守る一手法として大変有用であることから、前向きに進めていきます。

公園再生について

Q パークPFI導入の考えは
A 民間資金の活用により財政負担軽減が図れ、かつ民間のアイデア、集客力により公園の価値を高められることから、公園再整備と地域活性化に大変有用なため調査研究していきます。

児童生徒の学校環境について

Q チーム担任制導入の考えは
A 子どもを複数の目で見ることで多面的に理解することができると有効な手段で、教員の負担軽減にも繋がることから、導入について研究していきます。

その他の質問

- 障がい者福祉の充実について
- ・教員の負担軽減について 他

規就農者や、慣行栽培から有機農業への転換に取り組む農業者について調査していきます。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



さいとう あきら
齊藤 章
(公明党)



録画配信

登録した家族のメールアドレスに連絡が届く仕組みになっています。

高齢者の肺炎予防について

Q RSウイルス感染症について、疾患の周知と高齢者における感染予防の注意喚起を行っていただきたいが

A RSウイルスに関する注意喚起として、市のホームページに掲載しました。

高齢者支援について

Q 認知症高齢者見守りシール事業の運営状況について伺う

A 認知症高齢者等の安全確保と介護者の負担軽減を目的として、介護保険の要介護、要支援の認定を受けている方、または認知症の診断を受けている方を対象とした事業です。申し込みされた方には市からQRコード付きのシールが交付されます。認知症等によって徘徊し自分で自宅に戻れなくなった際に、高齢者を発見された方が衣類に貼ってあるQRコードを読み取ること、その連絡先を知り、

認知症予防施策について

Q 認知症の前段階である軽度認知障害を早期発見できる血液検査の検査費助成について伺う

A 先行して実施している他自治体の状況等を踏まえ、今後調査研究していきます。

窓口における難聴者支援について

Q 窓口で軟骨伝導イヤホンの導入予定があるか伺う

A 耳の穴を塞ぐことなく、軟骨付近に軽く添えるだけで音を聞き取ることができますが、聴覚の分野では新しい技術のため、聴力の適応範囲について、今後調査研究が必要と考えます。埼玉県内でもすでに導入している自治体がありますので、実施している自治体の実施効果等を調査し、導入について研究していきます。



しまの かずお
島野和夫
(公明党)



録画配信

は9自治体です。高齢者への助成拡大については、国の調査結果や聴力の基準が示されず、

消滅可能性自治体からの脱却について

Q 「人口戦略会議」が公表した消滅可能性自治体からの脱却の背景と要因は

A 転入者が増加したのは、都心の不動産価格の高騰があり、南から北へ人が動いたことが挙げられます。また、第五次北本市総合振興計画のリーディングプロジェクト「若者の移住・定住・交流促進」及び「めざせ日本一、子育て応援都市」に重点的に取り組みました。

補聴器購入費助成事業について

Q 対象年齢枠を撤廃し、助成拡大すべきと考えるが

A 令和5年4月より18歳から22歳まで拡大し、修理も助成対象としました。令和6年4月から所得制限も撤廃しました。県内ですべての年齢を対象に助成しているのは鴻巣市のみで、65歳以上を対象に助成しているの

下水道整備について

課題があると考えています。

Q 久保特定土地区画整理地内は今後、公共下水道が整備されるため浄化槽設置補助の対象にならない。一日も早い公共下水道整備を進めるべきだと思うが

A 今年度は土地区画整理事業の計画変更に合わせて、南小通から西側の汚水排水を見直すこととしています。

文化センターの大規模改修について

Q 文化センターは昭和59年に開館し40年が経過している。市民・団体など利用者と事業者への配慮と周知について伺う

A 令和8、9年度で改修工事を予定し、工事費は30億円を試算しています。工事期間中は他の公民館の利用をお願いし、中央図書館は予約による貸出を検討します。事業者とは休館中の対応について検討します。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



くどう ひで お
工藤日出夫
(市民の力)



録画配信

コミュニティ8圏域について

Q1 市主導で進めた背景は

A1 昭和54年北本市総合計画を策定し、コミュニティに関し現況・課題を「農村の共同体が崩壊」「急激な都市化」「新しい地域社会の場づくり」と記載し、中学校通学区ごとに第二次圏域としてのコミュニティ活動を支援することとしました。

Q2 8圏域の定義と活動は

A2 昭和60年から概ね小学校通学区域を第二次生活圏域として市域を8分割し、地域コミュニティ委員会を設置しました。公民館等を整備し、当初は地域担当職員を置き活動支援しました。各委員会では様々な事業を通して人と人との繋がりを築き、地域の力を高め、まちづくりを進める上で重要な組織だと認識しています。今年の能登半島地震も含め、自然災害発生時には、普段からの近隣や地域社

会との結びつきが極めて重要で、今後も引き続き支援していきます。

Q3 小学校区を生活

圏とした頃の児童数から3分の1になっている。8圏域から、再編成が必要では

A3 当時、児童数は人口全体の3割程度で、今は1割以下です。様々な弊害が出てきていますが、今後それらも含め議論がなされるべきと考えています。

Q4 現在は小学校区と言いな

がら自治会が構成単位で、その自治会の存続が課題になっている。新しい仕組みが必要では

A4 8圏域が建物の関係で4地域になるようなことはあるかもしれませんが。市の人口など様々な状況の中から、どのような方がいいのか、地域住民がまずどうしたいのかということが前提になると思っています。

Q5 今年度は立地適正化計画と第六次北本市総合振興計画の策定が始まる。市がどうするか

が重要。見直しては



おかむらありまさ
岡村有正
(彩桜きたもと)



録画配信

快適で安心・安全なまちについて

Q1 空き家・空き地対策の現状と課題について伺う

A1 住宅・土地統計調査の速報値では、埼玉県内全域での「その他空き家」の数は、平成30年

が12万4000戸、令和5年が13万8000戸で、1万4000戸の増加となっていますので、本市の空き家数も増加しているものと推測しています。本市の空き家数については、昨年度の実態調査では795戸という数値を把握していますので、管理不全の空き家が発生しないように、今後

も空き家等の適切な管理を行うための支援や指導のほか、空き家等の利活用について促進していきます。また、市民から管理不全な空き家について相談があった場合は、空き家法に基づき所有者や管理者等を特定し、その者に対して適切に管理する

よう通知を行い、指導しているところです。

なお、令和5年12月に

空き家法が改正され

るなど、空き家を取り巻く環境が大きく変化していますので、「第2次北本市空家等対策計画」を策定する準備も進め、今後

も空き家問題の改善に取り組んでいきます。

Q2 相続人がなく所有者不明

で、周辺の環境や隣家に著しい悪影響が出ていて、放置すれば特定空き家になる恐れのある空き家への対応について伺う

A2 民法や空き家対策特別措置法の改正に伴い、管理不全の空き家について、市区町村が財産管理人の選任を裁判所に請求し、空き家の管理や処分等を行うことができるようになります。

放置すれば、特定空き家となる恐れのある管理不全の空き家について、周囲や公共の場

に及ぼす影響などを考慮したうえで、この制度を活用していきたいと考えています。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



す わ ゆ き お
諏訪幸男
(彩桜きたもと)



録画配信

合併及び広域連携について

Q 直面している人口減少を踏まえ、将来の北本市に不安を感じている。市職員の専門知識、人材確保し委託せず自前で設計等作成にかかわる事が必要だが、現在の行政規模では難しいと考える。広域連携高齢者支援、運転免許返納者への支援について

A 人口減少や少子高齢化に伴う地域衰退等、合併はこれらの課題解決手段の一つと考えています。現在は合併特例債などの「うまみ」のない状況の中、現在新たな検討はしていません。今後、市民の足となる公共交通を維持確保し高齢者が運転免許を返納できるよう他自治体の先進事例を研究していきます。

道路、ニューシャトルの延伸の整備について

Q 市の利便性向上は人口減少防止になると考えるがニューシャトル、圏央道、首都高速埼

玉大宮線などの整備計画について

A 都市計画道路の西仲通線は遺跡を迂回

するルートに変更し早期実現に向け取り組んでいます。ニューシャトルを圏央道に沿って市の南部地域まで延伸した場合、用地取得費が抑えられ、伊奈町方面へのアクセスが容易になるメリットがありますが、現実的な課題として構造上や費用対効果等クリアすることは困難であると考えます。

将来人口の予測について

Q 5年後及び10年後の人口予測について

A 令和6年から6年後の令和12年は5万9745人、令和17年には5万6248人です。5歳から14歳までは令和6年から6年後の令和12年には人口は3647人、令和17年には3156人となっています。今後、学級数や人数が基準に適合しない場合は将来の統廃合を見据えた学校規模の適正化に関する検討を開始する予定です。



おしまたつみ
大嶋達巳
(みらい)



録画配信

消滅可能性自治体について

Q1 北本市が消滅可能性自治体に挙げられなかったことについて、市長の見解は

A1 (市長) 都心の地価の上昇による県内への人口流入等社会的な要因も挙げられますが、&greenをコンセプトとしたシティプロモーションの取組など、人口減少に対応するためのリーディングプロジェクトに重点的に取り組んだことも要因の一つだと認識しています。

Q2 広報きたもと6月号の市長のコメントに「人口が減っても市民の皆様が幸せに暮らしていけるまちづくりを進めていく必要がある」とあるが、具体的にどういうことなのか

A2 (市長) シティプロモーションを始めとするリーディングプロジェクトに資する事業を引き続き実施していきます。こういった施策を通し、人々の価値観の変化や社会の変

化を的確に捉え、都会と魅力的な地方「トカイナカ」の両方の顔を持つ本市ならではの、人口が減っても幸せに暮らせるまち、心の豊かさを求めるまちを追求していくことが今後のまちづくりの鍵になると考えています。

いじめについて

Q1 令和4年度のいじめに関する調査(児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)について

A1 いじめの認知件数は、小学校が135件、中学校が37件です。前年度と比較すると、小学校で5件増加、中学校で2件増加となりました。

Q2 件数が増加した理由は

A2 いじめはいつでも、どこでも、どの学校、どの学級にも起こり得るものという共通認識を持って、各学校では早期発見、早期対応に努めています。そのため、各学校における積極的な認知が図られていることを現しているものと考えています。

北本市議会×北本高校 模擬議会やります！

日時 **8/9**金 午前9時30分～

場所 議場(市役所3階)

詳細は後日市議会ホームページに掲載します



「紹介」

今定例会において同意されました方を紹介します。

○固定資産評価審査委員会委員

氏名 後藤 昌弘 氏

○人権擁護委員

氏名 志村 好文 氏

「広報きたもと等の音声データ化の充実に関する請願」を採択

現在、広報きたもとは、朗読ボランティアかばぎくらの協力により、音声データ化され、CDが作成され、一部視覚障がい者に届けられています。しかし、障害者手帳を所持している市民は140人を超え、CD受領者は約10%にすぎません。さらに言えば、障害者手帳を所持していない市民の中にも、弱視やロービジョンなどにより、広報きたもとの情報にアクセスできない方が少なくありません。このような状況は改善されるべきであると考えます。

【請願事項】

1 現状を把握し、市執行部と市議会との共通理解を成してください。

2 あるべき姿を設定し、改善への計画を作成してください。その際には、達成度を確認するための成果指標を盛り込んでください。

※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください



議請第3号

4月臨時会

4月24日に開かれた臨時会では、市長提出議案5件を慎重に審議しました。

「議案第33号」工事請負契約の締結については、北本市栄市民活動交流センター整備改修工事において、一般競争入札により3者の参加のもと入札を執行した結果、落札者が決定したため契約を締結するものです。

本案は、賛成全員により原案可決しました。

※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください



4月臨時会

「紹介」

今臨時会において同意されました方を紹介します。

○固定資産評価員

氏名 中野 了一 氏

第40回議会報告会を開催しました

去る4月27日(土)の午前9時30分より、西部公民館において、第40回議会報告会を開催し、多くの市民の皆さんのご参加をいただきました。



傍聴について

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

傍聴手続きが簡単になりました

より多くの方に気軽に傍聴していただけるよう、令和6年4月に規則を見直しました。

傍聴人受付簿（住所、氏名の記入）を

廃止し、議会事務局

窓口で傍聴券の交付を受けるだけで傍聴

できます。



次回の定例会は、

8月27日(火)

開会の予定です。

インターネットからもご覧になれます

パソコンやスマートフォン等で本会議の録画配信を見ることができます。左のQRコードから北本市議会ホームページにアクセスしていただき、トップページの「録画配信」をクリックしてください。



注意事項 録画配信している内容は北本市議会の公式記録ではありません。また、通信費用については利用者負担となります。



編集後記

6月定例会の最終日になって、急遽追加議案が提出されました。

小・中学校体育館空調設備設置事業について5月29日に一般競争入札を実施したところ、応札者がなく不調となったことに起因します。

不調原因が設備設計者不足によることから、入札方法をデザインビルド方式（設計施工一括発注方式）に変更し、工期短縮を目指しました。令和7年度内の工事完成が要件である緊急防災・減災事業債を活用して本市財政負担を最大限抑制することを最優先した結果です。

再度一般競争入札を実施し応札者がなく入札不調により工期延伸することで、緊急防災・減災事業債が活用できないリスクを回避するための、職員の機転です。（村）

議会広報広聴委員

委員長
副委員長
委員

大嶋 達巳
湯沢 美恵
斉藤 章
永井 司
高橋 誠
村田 裕子